

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	019 -	事業名	まちづくり施設管理事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	-------	-----	-------------	------	---------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計区分	一般会計	
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	予算区分(款 - 項 - 目)		
	第6次総合計画・基本目標	✓ 「やってみたい」でつながるまち	2-1-9 まちづくり協働費		
	法定受託事務の有無	-			
	その他(関係計画、要綱等)	✓	「長久手市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例」、「長久手交流プラザの設置及び管理に関する条例」、「長久手市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例」		
事業開始の背景、経緯等	少子高齢、人口減少社会を迎えるに当たり、地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の推進を図るため、市民の諸活動を支援し、交流の拠点となる場を提供する。また、市民の文化の向上と健康増進に寄与する。				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の推進のため、市民の諸活動を支援し交流の拠点となる場の提供			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の推進のために活動している個人・団体			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 各個人・団体同士の交流により、コミュニティ活動が推進され地域コミュニティが活性化している状態			
	事業を構成する事務事業(B票)	① まちづくりセンター管理事業	改善・見直し	④	
	② 農村環境改善センター管理事業	改善・見直し	⑤		
	③ 交流プラザ管理事業	改善・見直し	⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	予算	23,335	22,519	24,273	23,051	26,430
			決算	22,833	21,909	23,749	22,623	
	人件費(B)	千円	決算	-	12,746	13,800	8,188	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	-	34,655	37,549	30,811		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A 利用者数	人	目標	60,000	60,000	60,000	60,000	50,000
			実績	79,613	70,207	79,287	74,760	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) A 施設利用者数は、コミュニティ活動推進及び市民の諸活動支援と交流の拠点となる場の状況を図るのに重要な指標の一つである。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市市民活動センター、尾張旭市市民活動支援センター、日進市にぎわい交流館など、市民活動の拠点となる施設を、近隣市でも設置している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 施設には、年間で概ね7万人の利用者がおり、コミュニティ活動推進及び市民の諸活動支援と交流の拠点となる場として一定の効果がある。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 市民活動の場として定着してはいるが、利用団体が固定化されている。また、施設の経年劣化が進み、修繕案件が多く発生している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) まちづくりセンターは市民のまちづくりを目的とした活動を支援し、交流の拠点となる施設であり、各市民活動団体に活用されているが、各団体どうしの交流が十分に図れていない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民の諸活動及び交流の拠点の場として、利用しやすい環境を整える。まちづくりセンターにおいては施設利用団体の活動内容を紹介するまちセンカフェの開催並びに、活動団体どうしの交流を図るため、交流会の実施を試みる。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市民の諸活動及び交流の拠点の場として、利用しやすい環境を整える。まちづくりセンターにおいてはコーディネーターを配置し、活動団体ならびにこれから活動を始めたい市民を支援していきたい。また、施設の運営を市民活動団体へ任せしていきたい。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none">・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。・リモテラスの整備により近距離に類似施設ができることから、まちづくりセンターの土地等の資産を他の用途に有効活用するため、機能の移転・集約を検討してください。・行政改革指針に係る「経営改革の推進(民間活力活用)」、「財政改革の推進(公共FMの運用)」を踏まえ、施設運営・管理について、研究、検討してください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	まちづくり施設管理事業		担当部課	くらし文化部たつせがある課	決算書ページ	—
事務事業名	①	まちづくりセンター管理事業	予算区分	2-1-9 まちづくり協働費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民の諸活動を支援し、交流の拠点となる場を提供することにより、市民団体及び個人同士の交流の活性化と市民と市との協働によるまちづくりを推進する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の諸活動を支援し、交流の拠点となる場を提供することにより、市民と市との協働によるまちづくりが推進され、多様な個人及び団体を繋げる支援体制の構築。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	8,318	7,908	8,710	8,387	10,563
		決算	7,878	7,925	8,303	7,988	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		まちづくりセンター管理委託				2,295	千円
(2)		まちづくりセンター管理事務賃金				1,504	千円
(3)		光熱水費				1,118	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
利用者数	人	見込	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	23,740	22,158	20,653	19,299	
		見込 実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
開館時間 平日・土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜、祝日 午前9時から午後5時まで							
個人及び団体総利用登録数 176							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

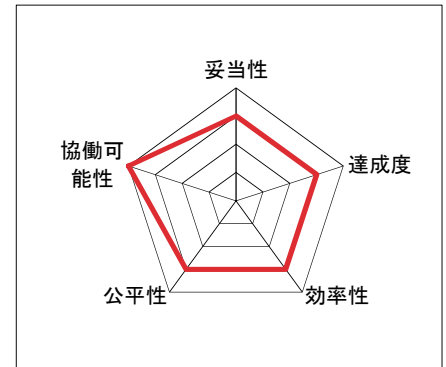
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市民活動の場として定着してはいるが、利用団体が固定化されている。また、活動団体どうしの交流が十分に図られていない。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
8,387 千円	10,563 千円	2,176 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】		
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	-	-	20,000	20,000
実績	22,158	20,653	19,299	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
まちづくりセンターを考える会と協議を実施し、今後のコーディネート機能の強化を含めた運営方法を検討した。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
・各活動団体どうしの交流が十分でないため、交流会の実施を行い、活性化を図りたい。 ・新規利用者の増加と各個人及び団体を繋ぐコーディネート機能をもたせた施設としていくことが必要である。

7. 今後の方向性

改善・見直し

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	まちづくり施設管理事業		担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	②	農村環境改善センター管理事業	予算区分	2-1-9 まちづくり協働費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和61年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域住民の健康増進とコミュニティー活動の推進を図るための場の提供。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域住民の健康増進とコミュニティー活動の推進が図られ、地域住民同士の交流が活性化している状態。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	7,274	7,265	8,293	7,433	8,171
		決算	7,160	6,738	7,828	7,292	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		施設管理委託				3,924	千円
(2)		光熱水費				1,169	千円
(3)		除草等委託				990	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
利用者数	人	見込	20,000	20,000	20,000	20,000	10,000
		実績	29,611	26,065	31,015	29,353	
		見込 実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
開館時間 午前9時から午後9時まで(ただし、施設利用のない場合は、午後5時まで)							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

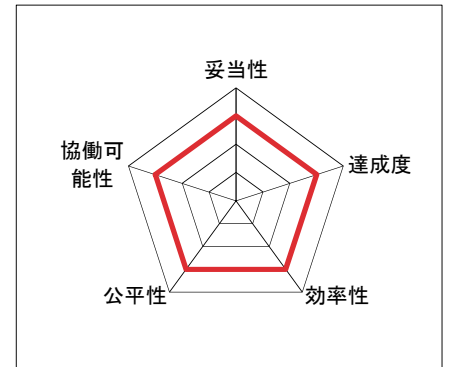
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 施設の経年劣化により、空調設備等の修繕工事が多く発生している。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
7,433 千円	8,171 千円	738 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】		
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	20,000	20,000	20,000	10,000
実績	26,065	31,015	29,353	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
貸館施設であり、現在のところ、農村環境改善センターの管理は協働事業を行う内容ではない。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
平成31年度から子ども未来課へ事務移管。 平成31年度から上郷保育園等新築事業のため、農村環境改善センターを7月から利用制限あり。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
経年劣化による設備等の修繕に関して発生する可能性が高いため、計画的に修繕が行えるよう改善・見直しをしていく。

7. 今後の方向性

改善・見直し

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	まちづくり施設管理事業		担当部課	くらし文化部たつせがある課	決算書ページ	—
事務事業名	③	交流プラザ管理事業	予算区分	2-1-9 まちづくり協働費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民の文化の向上とコミュニティ活動の推進を図るため、多目的な利用に供する施設の提供。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) コミュニティ活動の推進が図られ、市民の文化の向上のため多種多目的な利用に供されている状態。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	7,743	7,346	7,270	7,231	7,696
		決算	7,795	7,246	7,618	7,343	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		施設管理委託					4,253 千円
(2)		光熱水費					1,066 千円
(3)		清掃委託					798 千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
利用者数	人	見込	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	26,262	21,984	27,619	26,108	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
開館時間 午前9時から午後10時まで							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

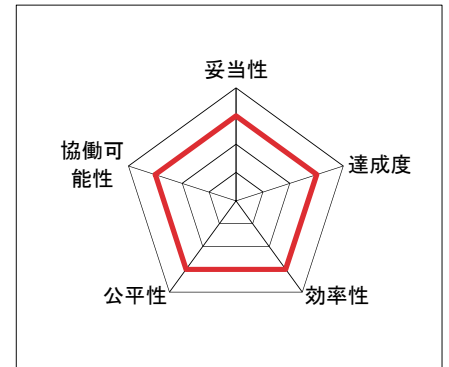
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 施設の経年劣化による修繕工事が発生している。
--

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
7,231 千円	7,696 千円	465 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】		
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	20,000	20,000	20,000	20,000
実績	21,984	27,619	26,108	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
貸館施設であり、現在のところ、交流プラザの管理は協働事業を行う内容ではない。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
経年劣化による設備等の修繕に関して発生する可能性が高いため、計画的に修繕が行えるよう改善・見直しをしていく。

7. 今後の方向性

改善・見直し